



高石土土第1368号

平成19年 5月 9日

国土交通省道路局長 様

高石市長



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け、国道企第114号にて依頼のありました件につきまして、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路整備・管理についての意見（高石市）

道路整備、歩道整備、バリアフリー等、社会状況の変化に応じた都市基盤整備がまだ十分でないため、その財源の確保を願いたい。

- 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
  - ① 都市基盤としての道路ネットワーク整備
  - ② 少子高齢化時代に向けた道路整備。具体的には、通学路の安全対策、高齢者が安心して散歩できるウォーキングロードの整備、歩行者が安全に歩くための駐輪場や自転車道整備等の自転車対策 等
  - ③ 連続立体交差事業とそれに関連する面整備及び道路整備
  
- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
  - ① 道路の形は時とともに変化していくため、時代に合わせた施策とすること
  - ② 全国一律ではなく、地域の特性を活かした無駄のないものとする
  
- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
  - ① 道路の幅員等は連続したものが原則であるが、地域特有の事情や事業効果を考えると、ある程度弾力性があるべき
  - ② 安全安心（事故防止）のため、道路照明灯の設置要望があるが、防犯灯扱いとして自治会等の負担を求めているところであるが、道路の安全性確保のための、設置費及び電気代等の維持管理費の補助を願いたい。また、環境面から考えると低電力で長寿命のLED照明灯への取り替え施策（補助率100%）を創出願いたい。（京都議定書のCO2削減量にかなり寄与するものと考えられる）